

3アップ連続セミナー

第2回「災害リスクと闘う」

連続セミナーは、各回に用地行政に関わるホットなテーマを設け、行政実務家・専門家・有識者等を講師にお招きし、御講演いただくもので、国・地方公共団体・関係機関等の用地担当職員のさらなるスキルアップ等を目指し開催する6回連続のセミナーです。

第2回セミナーについては、平成29年6月30日(金)に「災害リスクと闘う」をテーマとし、東日本大震災や熊本地震における用地職員の災害対応その経験談について講演いただきました。



第2回セミナー風景(参加者214名)

<鈴木龍幸氏>

国土交通省東北地方整備局職員として湯沢工事事務所(当時)を振り出しに、東北管内事務所及び本局用地部において、公共事業の用地取得に係る自治体等との調整や地権者との用地交渉など34年の長きにわたり用地行政に携わられた。また、東日本大震災発災当時は、用地部用地企画課長補佐及び用地対策課長補佐として被災地の応急復旧等にあたる事務所の指導等に尽力された。



<只松晃氏>

九州地方建設局(当時)に採用後、用地職員として管内の事務所及び本局用地部において用地買収業務に携われ、現在は用地対策課長補佐として事務所の補償案件の解決と事業の推進に精力的に取り組まれている。昨年の熊本地震の際は、地震発生後の用地補償問題の事務取扱の作成に携わられた。また、前震後にリエゾン(情報連絡員)として派遣された熊本県西原村において本震(震度7)に遭遇し、要員が少ない現地災害対策本部の活動を徹夜で支援された。

